

令和5年度 第1回県内学事視察 (徳島県立徳島北高等学校)

令和5年10月19日(木)

○徳島北高等学校の特色ある取組について (スクール・ミッション)

本県の英語教育・国際理解教育をリードする学校として、英語の4技能「聞く (リスニング)」「話す (スピーキング)」「読む (リーディング)」「書く (ライティング)」をバランスよく高める授業や、大勢のALTと英語のみで過ごす「English Day」、「海外語学研修」などの活動をとおして、国際的視野をもった「グローバル人材」に必要な力を育成しています。



学校概要説明として、「先進的な英語教育」をはじめとした特色・魅力ある取組や、生徒の学習や生活の様子について紹介がありました。

○行事視察後の質疑応答の様子



Q 普段の英語の授業では、どれくらいの頻度でALTが授業に参加しますか？

A 1・2年生の授業では、週1時間程度参加します。また、3年生の授業では、大学受験に向けて、英作文のサポートをしています。

Q 英語でのコミュニケーションに抵抗のある生徒はいませんか？

A 小中学校で、英語でのコミュニケーション中心の活動を重点的に行っているため、以前より、心理的なハードルが下がっているように感じます。

Q 国際英語科卒業後、どのような進路に進んでいますか？

A 進路先は様々です。中には、JAXAに採用され、アメリカへ渡った卒業生もいます。

English Dayについて

生徒の英語コミュニケーション力の向上と異文化理解を目的に、県内の学校で勤務する約100名のALTを集め、終日、「英語漬け」の交流活動・学習活動を行う、生徒からの人気も高いイベントです。また、マスコミからの取材があったり、進学を希望している中学生の見学者もあつたりするなど、注目度の高いイベントでもあります。